

1 審議会委員から提出された意見について

情報発信の重要性

- スポーツ施設の利用情報
- スポーツイベント

支える人の拡大

- イベント参加者⇒ボランティア運営リーダーとなる人材づくり
→イベント参加者やイベントを周囲に伝えたい方が、運営側として参加することで、コミュニティの拡大につなげる
- 学生ボランティアの参加促進
→地域づくりへの継続的な関心につなげる

選手指導者が集うイベント

- 様々な競技の選手や指導者が一堂に会するイベントの開催
→講習会やグループワーク等で交流を図り、競技間の情報交換や試合観戦のきっかけ作り

様々な事業を併せたスポーツイベント

- スポーツ以外の要素を含んだイベントとスポーツイベントの併催
→スポーツメインとなると参加者や内容が限定的となるため、お祭りや音楽、観光などのイベントと併催し、異なる入口から運動スポーツ活動の参加につなげる



次期苫小牧市スポーツ推進計画の策定について

1 審議会委員から提出された意見について

スポーツによる健康増進

- 計画改訂時のアンケート調査では、「ウォーキング」、「散歩」が第1位
年代ごとに取組める健康増進プログラムをスポーツ施設で作成する等し、施設の有効利用を図ってほしい

部活動のクラブ化

- 中学校では部活動のクラブ化が進められている
行政として今後どのような施策が展開できるのか？

競技団体の事務室（新総合体育館）

- 新総合体育館が建設となるのであれば、各競技団体が事務室として利用できるスペースを確保してもらいたい



次期苫小牧市スポーツ推進計画の策定について

1 審議会委員から提出された意見について

スポーツツーリズムの推進 (1/3)

苫小牧のスポーツ施設へのアクセス

◎新千歳空港から車で25分～30分

- 抜群の交通アクセス、夏の気候も冷涼
～ 東京都（例：味の素ナショナルトレーニングセンターの場合）～
→ 羽田空港から電車で1時間、成田空港からは1時間半



全国規模の大会、合宿の開催

◎アイスホッケー（高校選抜、大学交流戦等）、サッカー（FDカップ等） テニス・ソフトテニス（インターハイ等）

- 屋内リンク4カ所、サッカー場3面、テニスコート20面



苫小牧のグルメ

◎“ぷらっとみなと市場”でホッキカレー

- 大会選手、関係者（保護者等）“ぷらっとみなと市場”を観光
海鮮、ホッキカレー等を堪能
～ 今夏のFDカップ参加の小学生保護者から「感動的な美味しさ」と評判～



次期苫小牧市スポーツ推進計画の策定について

1 審議会委員から提出された意見について

スポーツツーリズムの推進 (2/3)

苫小牧のまちの現状イメージ

歴史的建造物がなく、修学旅行生や観光バスが立ち寄るまちではない
交流の機会（人口）が少ない



◎ 【京都や奈良、東北などの観光都市のイメージ】

→おもてなし、慣れ親しい人柄、人々の交流の機会が多い

『スポーツツーリズムの推進』により「施設の充実」のハード面、
「人々の交流（交流人口拡大）」のソフト面で効果が期待

★苫小牧のスポーツ資源（気候、自然、交通等）と
観光を組み合わせ、環境整備のまちづくりを推進

「経済効果」「社会的効果」について主要企業（資金援助）に理解と
支援をいただき、市民の「する」「観る」「支える」を見える化



次期苫小牧市スポーツ推進計画の策定について

1 審議会委員から提出された意見について

スポーツツーリズムの推進 (3/3)

推進をするにあたって

アイスホッケー以外の競技でも、効果が期待できることの理解と支援を拡げる

- ・ 小学校、中学校、高校でのスポーツ大会における実績
- ・ スポーツ人口増が期待できるスポーツ大会の誘致
(野球、ソフトテニス、卓球、バスケットボール、サッカー等)



観光産業の市場に大きく効果が期待できるとともに、
苫小牧を知ってもらう契機になる



これらに伴い

緑ヶ丘周辺のスポーツ施設の充実とともに、駐車場の
拡大・整備もしくは路線バスの運用・活用推進

特にバスの運用・活用推進は、小中学生が保護者の送迎に頼らず
自分で時間を調整し、計画して乗ることで『自立』への一步に



次期苫小牧市スポーツ推進計画の策定について

2 アンケート調査について

(1)現行計画策定時（平成27年1月）

- ①苫小牧市民の運動・スポーツ活動実態調査 →18歳以上の市民 3,000人

(2)現行計画改定時（令和2年8月）

- ①苫小牧市民の運動・スポーツ活動実態調査 →16歳以上の市民 3,000人
②障がいのある方の運動・スポーツ活動実態調査 →苫小牧市身体障がい者福祉連合会会員など 300人

(3)次期計画策定時（令和7年4月予定）

- ①苫小牧市民の運動・スポーツ活動実態調査 →16歳以上の市民 3,000人
②障がいのある方の運動・スポーツ活動実態調査 →苫小牧市身体障がい者福祉連合会会員など 300人
③苫小牧市での合宿に関する調査 →来訪団体／ホテル事業者
④スポーツ指導者の実態調査 →スポーツ少年団／クラブ活動指導者
⑤苫小牧市のスポーツ施策に関する調査 →スポーツ施設指定管理者、民間スポーツ施設事業者